

(C) Copyright CANVASs Co., Ltd.

=====
【ソフト名】 SST G1 Dub アップデートインストーラ
【対象製品】 SST G1 Dub 日本語版
【登録名】 SST G1 Dub Ver.1.1.10
【アプリケーション名】 setup.exe
【著作権者】 株式会社カンバス
【動作環境】 Microsoft Windows 10 / 11 日本語版
【配布条件】 1) ダウンロードしたファイルの再配布を禁止します。
2) 他のメディアへの一切の転載を禁止します。
=====

<Ver. 1.1.10> 2024.8

本バージョンアップによる変更内容

- 1) 機能追加・仕様変更
- 2) 機能修正

製品をアップデートするにあたり、以下の注意点がございます。
該当する方は、注意事項をお読みいただいた上でアップデートしていただくようお願いいたします。

[Ver1.1.8 をご利用のユーザー様へ](#)

[Ver1.1.3 以下をご利用のユーザー様へ](#)

[ウイルス対策ソフトをご利用のユーザー様へ](#)

1) 機能追加・仕様変更

－ 「G1_Lock」で暗号化された映像ファイルを開く機能が追加されました。

SSTG1 専用に暗号化された映像ファイルを開く機能が追加されました。

G1_Lock とは？

「G1_Lock」は、SSTG1 シリーズ専用の映像暗号化ソフトです。詳細は下記ページをご覧ください。

https://canvass.co.jp/g1_lock/

G1_Lock で映像ファイルが暗号化されている場合、下記の条件をすべてクリアしていないと映像ファイルを開くことができません。

①SSTG1 シリーズの下記ソフトで開くこと。

- NetSSTG1
- SSTG1Lite2
- SSTG1Pro
- SSTG1Dub

※上記以外のソフトでは開くことができません。映像ファイルをダブルクリックしても開けません。

②指定されたユーザーのdongleで起動したソフトで開くこと。

※SSTG1Dub であっても、クライアントが指定した翻訳者のdongleで起動していなければ映像は開けません。

③クライアントが指定した PC 台数の範囲内であること。

※暗号化の際、映像を開ける PC 台数が「1 台」と指定されていれば、2 台目以降の PC では開くことができません。

④クライアントが指定した期限内であること。

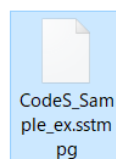
※暗号化の際、映像を開ける期限が「2021 年 12 月 10 日まで」と指定されていれば、2021 年 12 月 11 日になると開けなくなります。

 暗号化された映像ファイルの拡張子は、最初に「sst」が付き、下記のようになります。

アイコンは真っ白になります。

[例]○○○.mpg → ○○○.sstmpg

○○○.mp4 → ○○○.sstmp4



【「G1_Lock」で暗号化された映像ファイルの開き方】

上記条件をクリアしていれば、通常の映像ファイルを開く時と手順はまったく同じです。

●吹替の結合

—吹替を結合した際、後ろの吹替のテロップ原文とコメントが、従来は結合されず消えていましたが、テロップ原文／コメントも結合されるよう変更しました。

●新ドングルに対応

今後導入を予定している新ドングルに対応するための変更を行いました。現時点ですでに SSTG1Dub をご利用のユーザー様にはまったく影響はございません。

現在お持ちのドングルはそのままご利用いただけますので、ユーザー様にドングルの変更や更新を行っていただく必要はございません。

2) 機能修正

—吹替ウィンドウ/台本ウィンドウのフォントをメイリオまたは Meiryo UI に設定した際、文字のサイズが本来設定したサイズより小さく表示される問題を修正しました。

—セリフ一行の文字数の合計が 22.5 文字で且つ最後の文字が半角の場合に、最後の文字の後ろで改行をすると最後の文字が次の行に移動してしまうことがある問題を修正しました。

●吹替検索

—ト書き検索をした後、ト書き欄に入力した文字が反映されない、セリフ欄に移ってしまう問題を修正しました。

●置換

—役名置換にて、すでに存在する役名に置換すると、役名一覧に同一の役名が二つ存在してしまう問題を修正しました。

●sdb インポート

—ルビ付きの字幕が存在する sdb を「セリフ枠空欄インポート」でインポートし、セリフの入力や吹替の結合をするとルビが正しくつかないことがある問題を修正しました。

●台本エクスポート

—セリフ一行の文字数の合計が 22.5 文字で且つ最後の文字が半角、次の行がト書きのみでセリフが存在しない場合に、台本エクスポート時「ボタン」の設定を「先頭行と自動改行ではない改行の先頭行のみにつける」にしていると「引数が正しくありません」とエラーが出る可能性がある問題を修正しました。

■Ver1.1.8をご利用のユーザー様へ

※本項は、Ver1.1.8以外のバージョンをご利用のユーザー様には関係ございませんので、読み飛ばしてください。

<波形データ削除のお願い>

Ver1.1.8で再生機構をアップデートしましたが不具合が発生したため、Ver1.1.9で再生機構を以前のバージョンに戻しております。このため、現在Ver1.1.8をご利用のユーザー様は、保存している波形データを一度削除し、本バージョンで波形データを生成し直してください。

【波形データの再生成方法】 ※映像ファイルは開かない状態で行ってください

- ①[設定]→[ユーザー設定]→[メンテナンス]タブ [波形データファイルの保存先フォルダ]のフォルダを開くボタンをクリックして波形データの保存先フォルダを開いてください。
- ②[Normal]フォルダを削除するか、切り取りで別のフォルダに移動させて下さい。
※[DSMode]フォルダは削除不要です。
- ③映像を開き直すと波形データが自動生成されます。（新再生モードの場合のみ）

<SSTG1シリーズのアップデートのお願い>

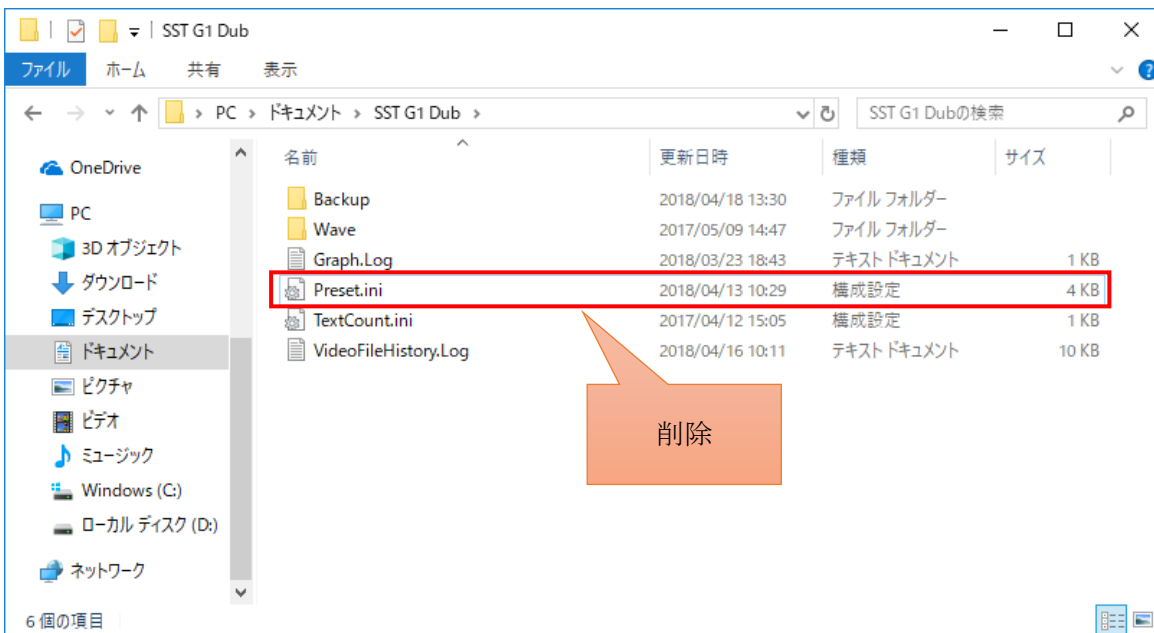
SSTG1Pro・NetSSTG1・SSTG1Lite2を同一PCでご利用のお客様は、SSTG1Dubを本バージョンへアップデートすると同時に、必ずPro・Net・Lite2もVer.3.1.14以上へアップデートしてください。

片方だけをアップデートした状態で使用開始してしまうと、アップデートしていないソフトでの映像再生に不具合が生じます。

■Ver1.1.3 以下をご利用のユーザー様へ：必ずお読みください

本項目は Ver1.1.3 以下をインストールされていた PC をご利用の方が、本バージョンにアップデートもしくは再インストールする場合に必要な手順になります。Ver1.1.4 以降からのアップデートもしくは新規インストールの場合は不要です。

Ver1.1.4 からの仕様変更により、画面調整、フォーマット設定のデフォルト値が変更されています。変更を反映させるために[ドキュメント]-[SST G1 Dub] フォルダに存在する「Preset.ini」を削除してください。



■ウイルス対策ソフトをご利用のユーザー様へ

ウイルスバスターをご利用の場合、録音データを上書き・削除するとウイルスバスター側にブロックされることがあります。ウイルスバスターを最新バージョンにアップデートしてからご利用ください。もしウイルスバスターから右画像の警告が出たら「プログラムの許可」を選択して許可してください。

ウイルスバスター以外をご利用の場合でも、同様の警告が出た場合には、sstg1dub.exe を許可する、例外に追加する、等の対応を行ってください。

